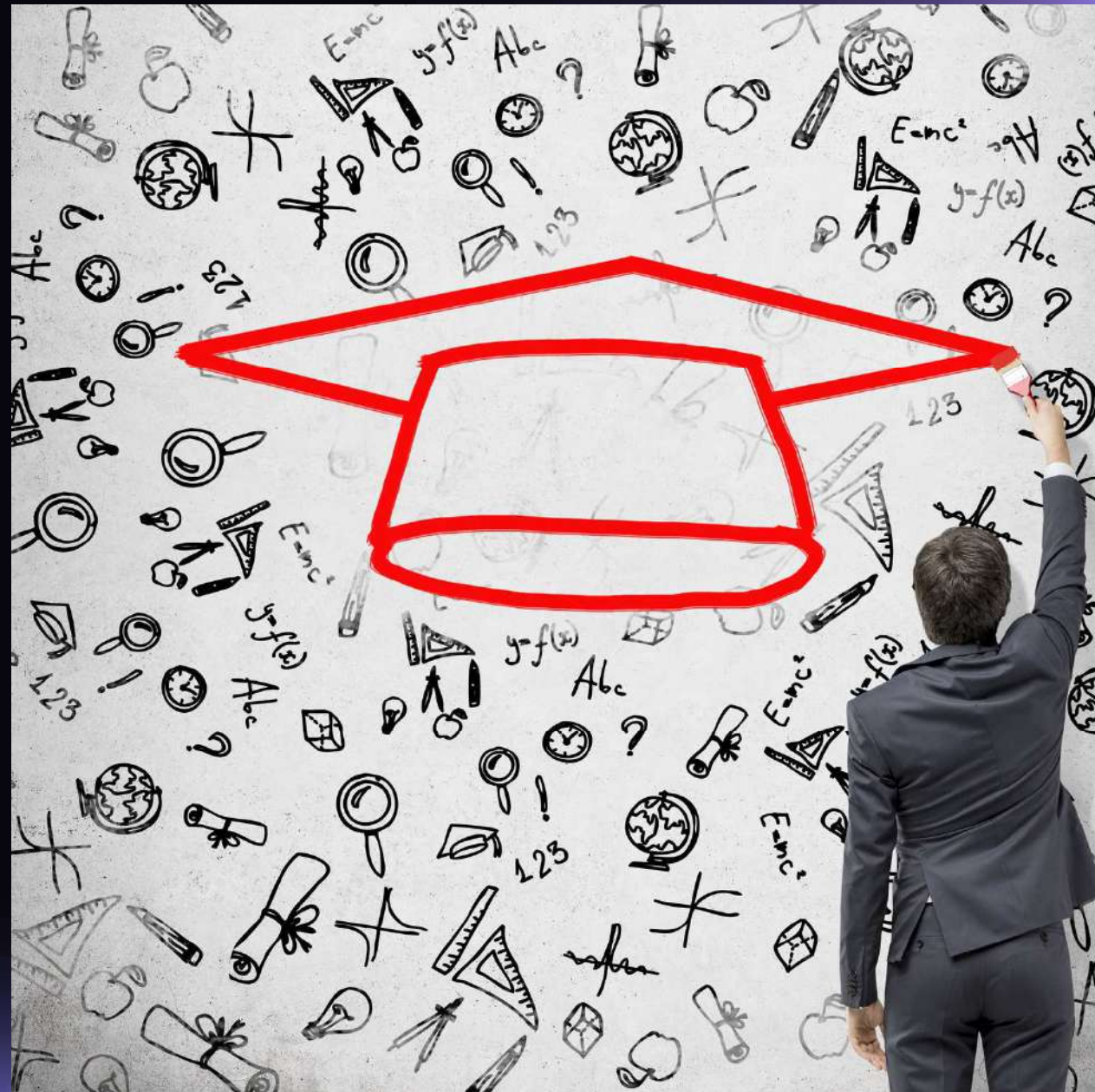




# インドネシアの 教育制度

## 概説

Prof. Aris Junaidi, Ph.D





## 高等教育

2012年法律第12号

—  
高等教育に関する法律

2003年法律第20号

—  
全段階の国内教育制度に関する  
法律

基本法令

2020年教育文化大臣令第3号

—  
高等教育の国家基準に関する  
大臣令

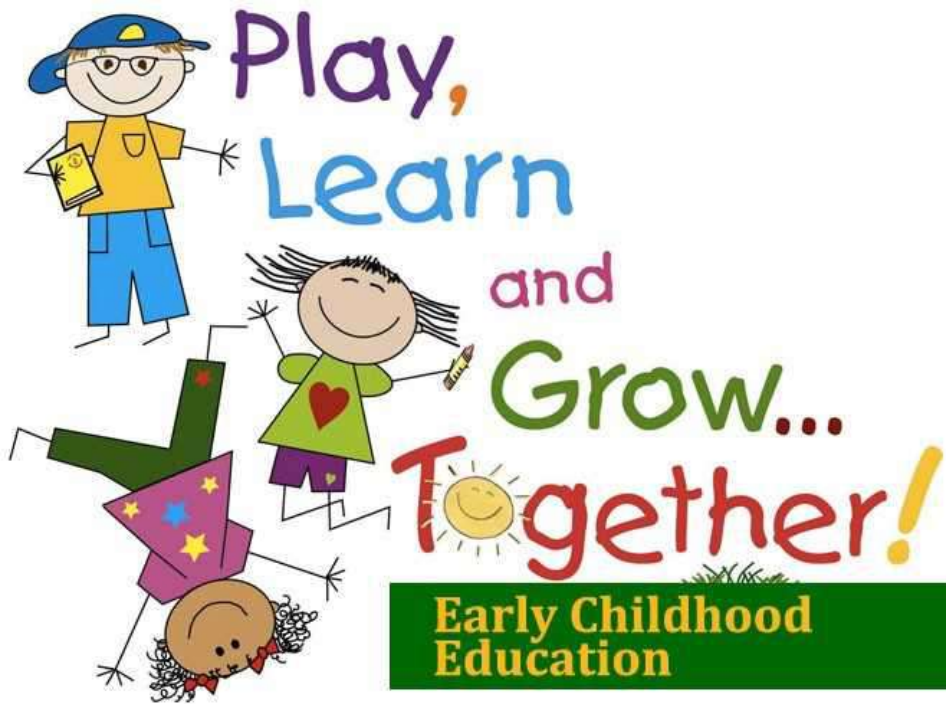
基準

# 教育段階



インドネシアの教育制度					
教育段階	教育の過程				
	フォーマル		ノンフォーマル		インフォーマル
幼児教育	幼稚園		保育園、託児所、同様の幼児教育機関		<p>個人または複数でのホームスクーリング (在宅教育)</p> <p>職業訓練 講座</p> <p>就労体験</p> <p>家族や社会、自然などの周りの環境との直接的な関わりを通して得られる、その他の様々な非構造化学習。加えて、知的資源を活用した自己学習、自己実践、自己訓練。</p>
基礎教育	小学校 (1-6学年)		<p>従前の学習の承認(RPL)システム</p> <p>Aプログラム</p> <p>Bプログラム</p> <p>Cプログラム</p>	<p>コミュニティのホームスクーリング (在宅教育)</p>	
	中学校 (7-9学年)				
中等教育	高等学校 (10-12学年)	3年制職業高校 (10-12学年)			
高等教育	1年制ディプロマ (ディプロマ1)				
	2年制ディプロマまたは短期大学士				
	3年制ディプロマまたは学士				
	優等学士	専門職学士			
	プロフェッション				
	修士および応用修士	スペシャリスト			
	博士および応用博士	サブスペシャリスト			

# 幼児教育 (ECE) 段階



- 3 1セッション最低180分以上の教育を週最低5回以上、2年間学習

- 1 ECEの対象は、幼稚園に通う4-6歳の子供のみ

## 2 学習成果

- a. 宗教的・道徳的価値観
- b. 身体状態および運動技能(粗大運動、微細運動、および保健・安全行動)
- c. 認知技能(学習および問題解決能力、論理的思考、象徴的思考)
- d. 言語能力(理解力、表現力、文字)
- e. ソーシャルスキルおよび情動状態(自己認識、自分の責任と他人の責任という意識、社会化行動)
- f. 芸術的能力(音楽や音を楽しむ能力および芸術的活動への興味)



# 基礎教育段階

## Basic

education illustration



- 3
- 小学校の数は148,244校、児童数は25,021,517人
  - 中学校の数は38,960校、生徒数は9,916,641人

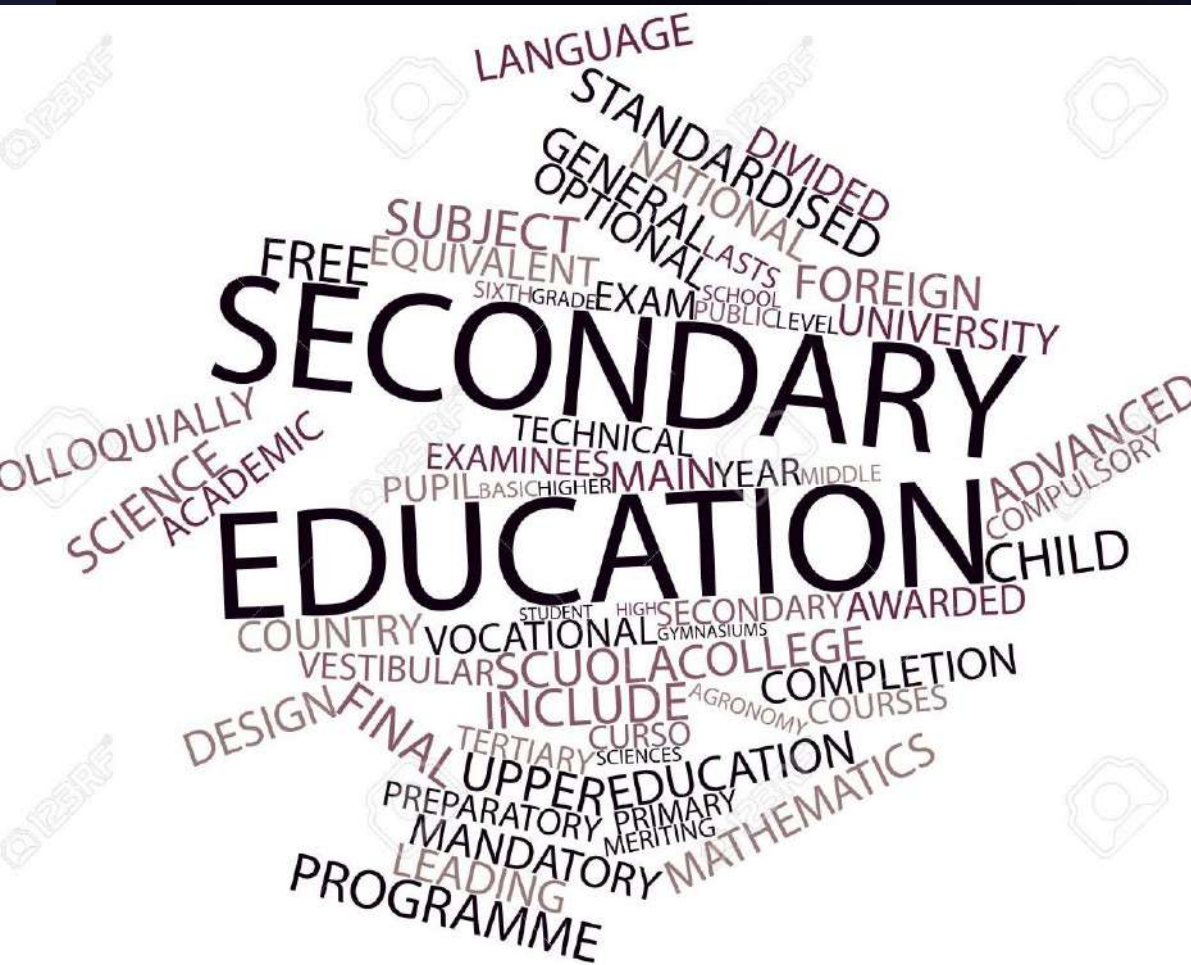
1

フォーマルな基礎教育は、小学校6年間(1-6学年)と中学校3年間(7-9学年)、計9年間の義務教育で構成

## 2 学習成果

- 1) 唯一無二の神に対する信仰と敬虔な気持ち
- 2) ナショナリズムと愛国心
- 3) 個人的・社会的特徴
- 4) 読み書き
- 5) 肉体的・精神的健康
- 6) 独創性
- 7) 美意識

# 中等教育段階



1 規定

2 学習成果

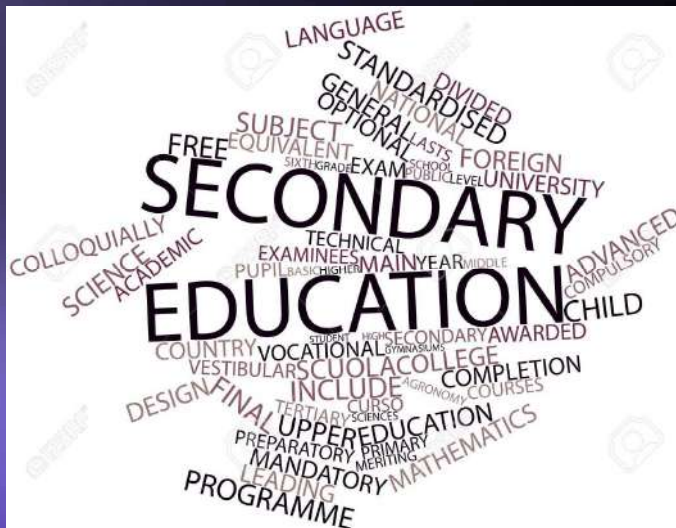
3 修業年限とインドネシア資格枠組 (IQF) 上のレベル

# 1. 規定

- a. フォーマルな中等教育は3-4年制で、普通中等教育と職業中等教育で構成
- b. 高等学校は、普通中等教育を提供
- c. 職業高校(教育文化・研究技術省の所管)は、職業中等教育を提供

現在のカリキュラムでは、普通中等教育を受ける生徒に特定の関心分野(*bidang peminatan*)を選択するよう義務付け。選択肢は、数学・自然科学、社会科学、語学・人文科学

専門分野の選択は職業中等教育にも適用され、生徒に特定の専門分野(*bidang keahlian*)と専門プログラム(*program keahlian*)の選択を義務付け。選択肢は、技術・工学、情報・通信技術、保健、アグリビジネス・農業技術、水産・海洋、ビジネス・経営、観光、ビジュアルアート・工芸、舞台芸術







# 宗教省所管の 基礎教育

01

Raudhatul  
Athfal

幼児教育に相当する、イスラムに基づく基礎教育を提供する機関

02

Madrasah  
Ibtidiyah

小学校に相当する、イスラムに基づく基礎教育を提供する機関

03

Madrasah  
Tsanawiyah

中学校に相当する、イスラムに基づく基礎教育を提供する機関

04

Madrasah  
Aliyah

高等学校に相当する、イスラムに基づく中等教育を提供する機関

教育文化・研究技術省(MoECRT) は基礎および中等教育についてミニマム能力評価 (Minimum Competency Assessment: AKM) を実施。AKMは全ての児童・生徒が自己の能力を開発し、積極的に社会に参加するために必要な基礎能力を評価。



# 高等教育制度

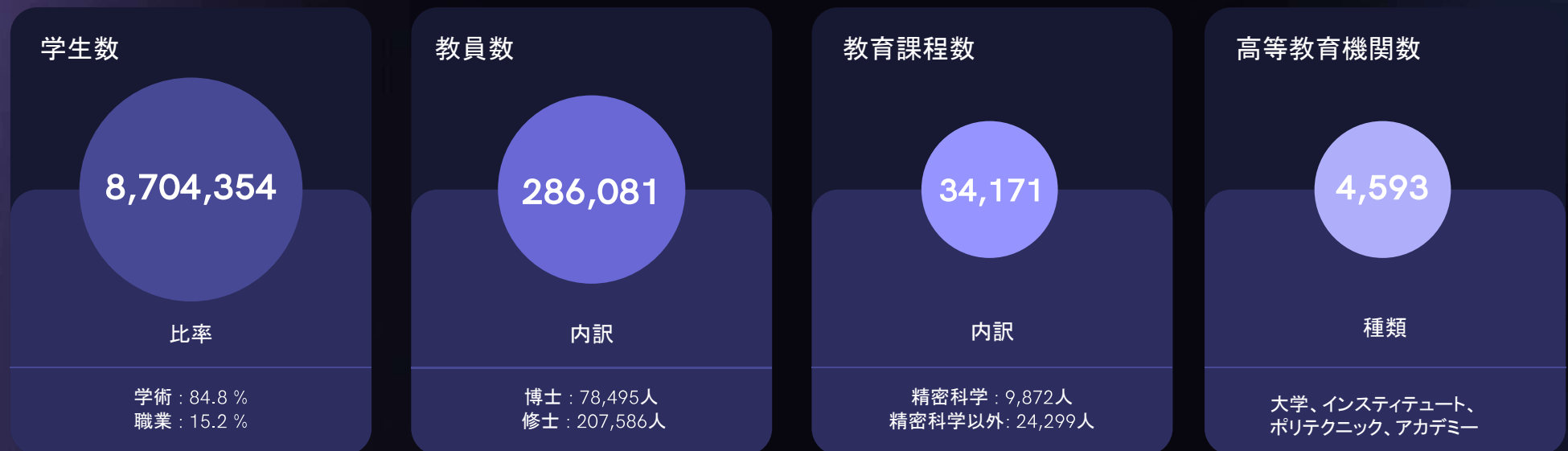
1 種類

2 学習成果

3 修業年限

4 高等教育への進学経路

# 数字で見る高等教育



出典: <https://pddikti.kemdikbud.go.id/>



# 1. 教育の種類

...

教育の種類	定義	提供される教育課程の種類
学術	科学技術分野の技能の習得および開発を目的とする高等教育の学士・大学院課程	a. 優等学士 b. 修士 c. 応用修士 d. 博士 e. 応用博士
専門職	特定技能の習得および開発を目的とする高等教育	基礎: a. 1年制ディプロマ b. 2年制ディプロマ (短期大学士) c. 3年制ディプロマ (学士) d. 専門職学士  上級: e. 一般プロフェッション f. スペシャリスト g. サブスペシャリスト

# 高等教育機関の形態別教育の種類

...

高等教育機関 の形態	提供する教育の種類		
	学術教育	基礎専門職教育	上級専門職教育
大学	有	任意、多数の分野を選択可	要件を満たした場合のみ
インスティテュート	有	任意だが数分野に限定	要件を満たした場合のみ
カレッジ/スクール	有	任意だが1つの分野に限定	要件を満たした場合のみ
ポリテクニク	無	有、多数の分野を選択可	要件を満たした場合のみ
アカデミー	無	有、ただし数分野に限定	無
コミュニティカレッジ	無	有、ただし1年制または2年制 ディプロマレベルに限定	無



数字で見る

# SPADA Indonesia

(インドネシアのオンライン学習システム)

提供大学 **434校**

提携大学 **316校**

学生数 **65,000人超**

大学が共有するコンテンツ数 **252超**

## SPADA インドネシアのオンライン学習

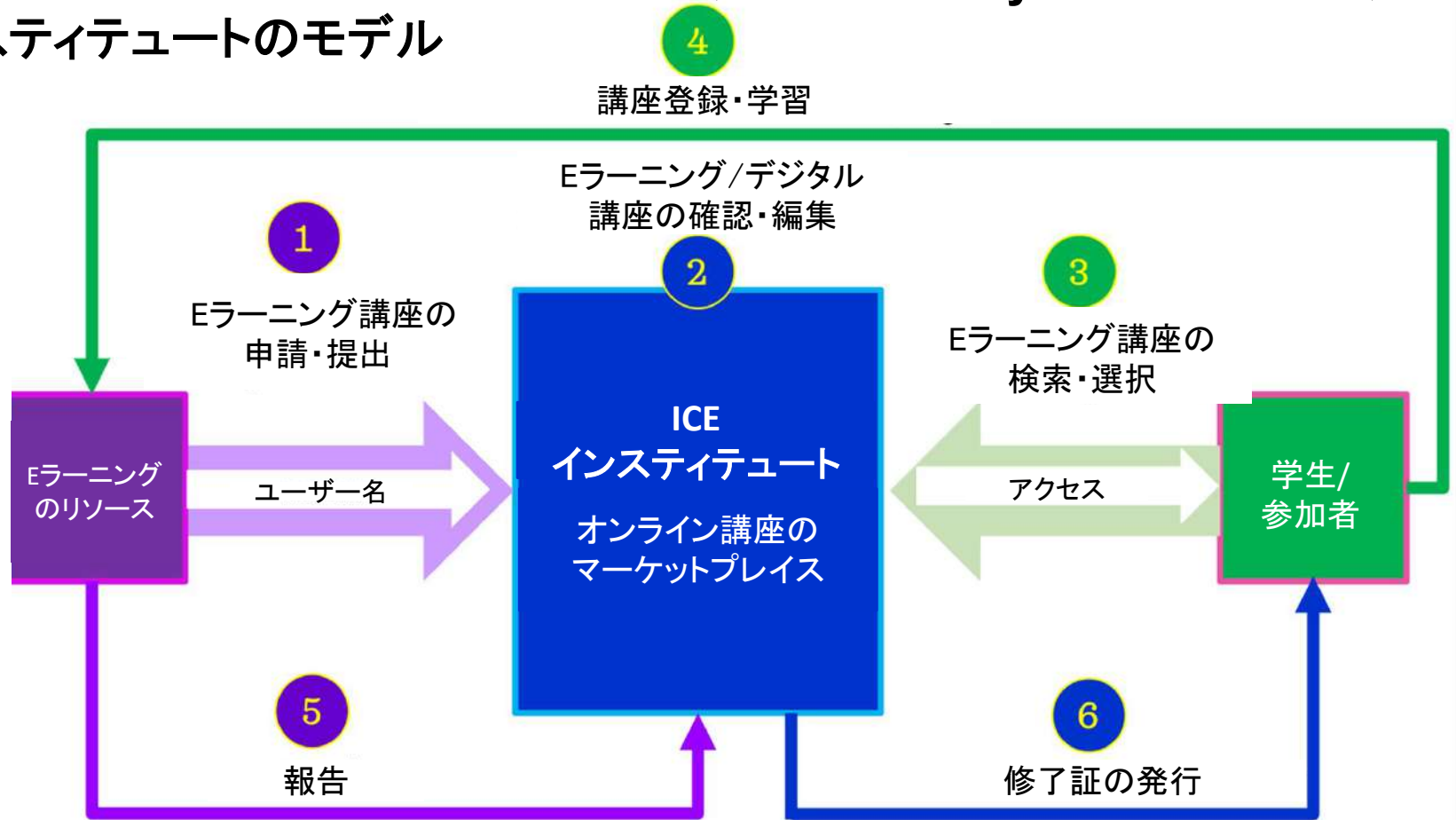
SPADA			オンライン講座	
オープンコンテンツ	オープン講座	オンライン講座	オンライン講座 7in1	オンライン講座 学生交流
<b>320</b>	<b>588</b>	<b>382</b>	<b>102</b>	<b>29</b>

教員専門教育 (PPG) (/2019)			
教育課程 <b>53</b>	学生バッチⅠ <b>6775</b>	学生バッチⅡ <b>10596</b>	学生バッチⅡ追加分 <b>732</b>
<b>合計 18103</b>			
合格 <b>16567</b>		不合格 <b>804</b>	



# インドネシア・サイバーエデュケーション (Indonesia Cyber Education) インスティテュートのモデル

- 高等教育機関
- 産業/民間セクター
- 大規模公開オンライン講座 (MOOC)
- 機関/組織
- 個人/コミュニティ

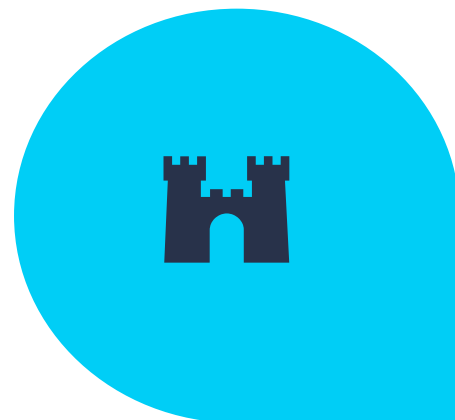






# ICEインスティテュート – オンライン講座の マーケットプレイス

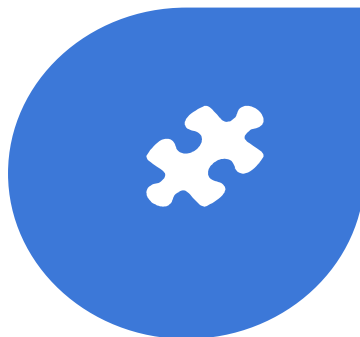
確認・編集のプロセスを経て  
インドネシアで提供されてい  
る全オンライン講座を紹介す  
るギャラリー



マイクロレデンシャル/デジ  
タルバッジ → オンライン講座  
ごとの修了証



柔軟性の高い学習 – 自由な学  
習 – いつでも、どこでも、誰で  
も – 時と場所を選ばないアク  
セス、公平性、質の高さ



単位修得/互換制度  
で単位互換が可能



## 2. 学習成果

各高等教育機関の自治権の一部

教育課程ごとに独自の学習成果の設定、  
または既定のテンプレートに調整を加えた  
上での学習成果の設定、のいずれか  
を選択可能

高等教育の学習成果の記述には一般に、  
教育と課程の種類間の比較的な説明を  
用いる

## 就労体験のカテゴリー

高等教育では、態度、知識、技能面の能力の一部に**就労体験**を通じて習得

### インターンシップ

実務経験を積むために、規定の単位数修得または規定の年数授業を受けた後に行う、監督者の下で専門性を身につけるための短期間の訓練

### 見習い制度 (Apprenticeship)

特定の技能や専門知識を習得するための職業訓練制度の1つで、訓練機関で訓練を受けるだけでなく、企業の製品・サービスの生産工程において、指導者や熟練労働者の指導・監督の下で働く、総合的な訓練

### 実地訓練 (Field Work Practices)

特定分野での技能または専門知識を習得するカリキュラムの一環として、仕事の現場で当該分野に関連する知識を実践的に用いる労働実習

### コミュニティサービス 学習

カリキュラムの一環として、特定の時期と場所において、学際的および分野限定的な知識を用いて実社会の問題を解決するコミュニティサービス

# 学術系高等教育と専門職高等教育の学習成果の比較 (1)

...

学習成果の側面	専門職	学術
一般的成果	消費者が必要とする製品の製造支援またはサービスの提供をうまく行うために、専門的な科学、工学、技術を応用する能力	特定セクターの様々な仕事での問題解決のために、科学、工学、技術を活用・開発する能力
学習の特質	1. 実践的知識を習得し、これを深め、強化する一連のプロセスで、主として特定の技能を習得し、新たなアイデアを批判的にとらえる能力を高め、問題解決者としての学習者の品性と道徳心(気質)を強化することを目指す	1. 高度な思考力を身につける、生涯にわたる一連のプロセスで、主として科学技術を習得し、新たなアイデアを批判的にとらえる能力を高め、問題解決者としての学習者・生涯学習者の品性と道徳心(気質)を強化することを目指す



## 学術系高等教育と専門職高等教育の学習成果の比較(2)

...

学習成果の側面	専門職	学術
学習の特質	<ol style="list-style-type: none"><li>2. 実践的高等教育カリキュラムは、卒業後すぐに専門職に就くことができる人材の育成を目指しているため、開設にあたり関係するステークホルダーを巻き込み、既存の職業事情に関連あるものにしなければならない</li><li>3. この教育を受けた卒業生は、専門分野ですぐに問題解決能力を発揮できなければならない</li><li>4. 専門的な職務能力を測る試験または能力の証明は卒業要件ではない</li></ol>	<ol style="list-style-type: none"><li>2. 学術的高等教育カリキュラムでは、特定の、または多様なセクターで様々な分野の仕事に携わる能力のある卒業生の輩出を目指しているため、仕事の能力に直結するカリキュラムを構築することはできない</li><li>3. この教育を受けた卒業生については、既定の専門的訓練または職場での研修を受けずに専門的な仕事に就く能力を保持していることを保証することはできない</li><li>4. 専門的な職務能力を測る試験または能力の証明は卒業要件ではない</li></ol>

# 高等教育課程の種類別学習成果とインドネシア資格枠組(IQF)の比較

...

教育課程の種類	最低限の学習成果	IQFレベル
1年制ディプロマ	一般的なあらゆる概念、知識、業務技能の習得	3
2年制ディプロマまたは短期大学士	特定の技能分野での知識および技能の基本原則の習得	4
3年制ディプロマまたは学士	特定の知識・技能分野の一般的理論の習得	5
優等学士および専門職学士	特定の知識・技能分野の一般的理論の習得に加え、同分野の深い専門理論の習得	6
一般プロフェッション	特定の知識・技能分野の応用理論の習得	7
修士、応用修士、スペシャリスト	特定の知識・技能分野の理論および応用理論の習得	8
博士、応用博士、サブスペシャリスト	特定の知識・技能分野の科学哲学の習得	9

### 3. 修業年限と学習量

...

教育課程の種類	予定修業年限 (年)	在学年限 (年)	最少必要学習量 (セメ スター履修単位)
1年制ディプロマ	1	2	36
2年制ディプロマまたは 短期大学士	2	3	72
3年制ディプロマまたは 学士	3	5	108
優等学士および 専門職学士	4	7	144
一般プロフェッション	2	3	24
修士、応用修士、 スペシャリスト	2	4	36
博士、応用博士、 サブスペシャリスト	4	7	42

ここに挙げた予定修業年限と在学年限は、教育課程の種類ごとの年数であり、複数の教育課程の累積ではない。ただし、3年制デイプロマまたは学士以下については、優等学士および専門職学士の教育課程に単位を移行し、卒業に必要な単位数を減らすことは可能。これにより、修業年限が短くなる場合がある。

単位の定義には2つの概念が用いられており、いずれも米国の制度を採用。学部課程については、学生の学習量(概念的学習時間)のみに基づいて単位数を決定。一方大学院課程(一般プロフェッション、修士、スペシャリスト、博士、サブスペシャリスト)の単位数は、学生の学習量と専門家の判断を組み合わせで決定。従って、大学院課程の単位数と修業年数と直線的相関関係はない。

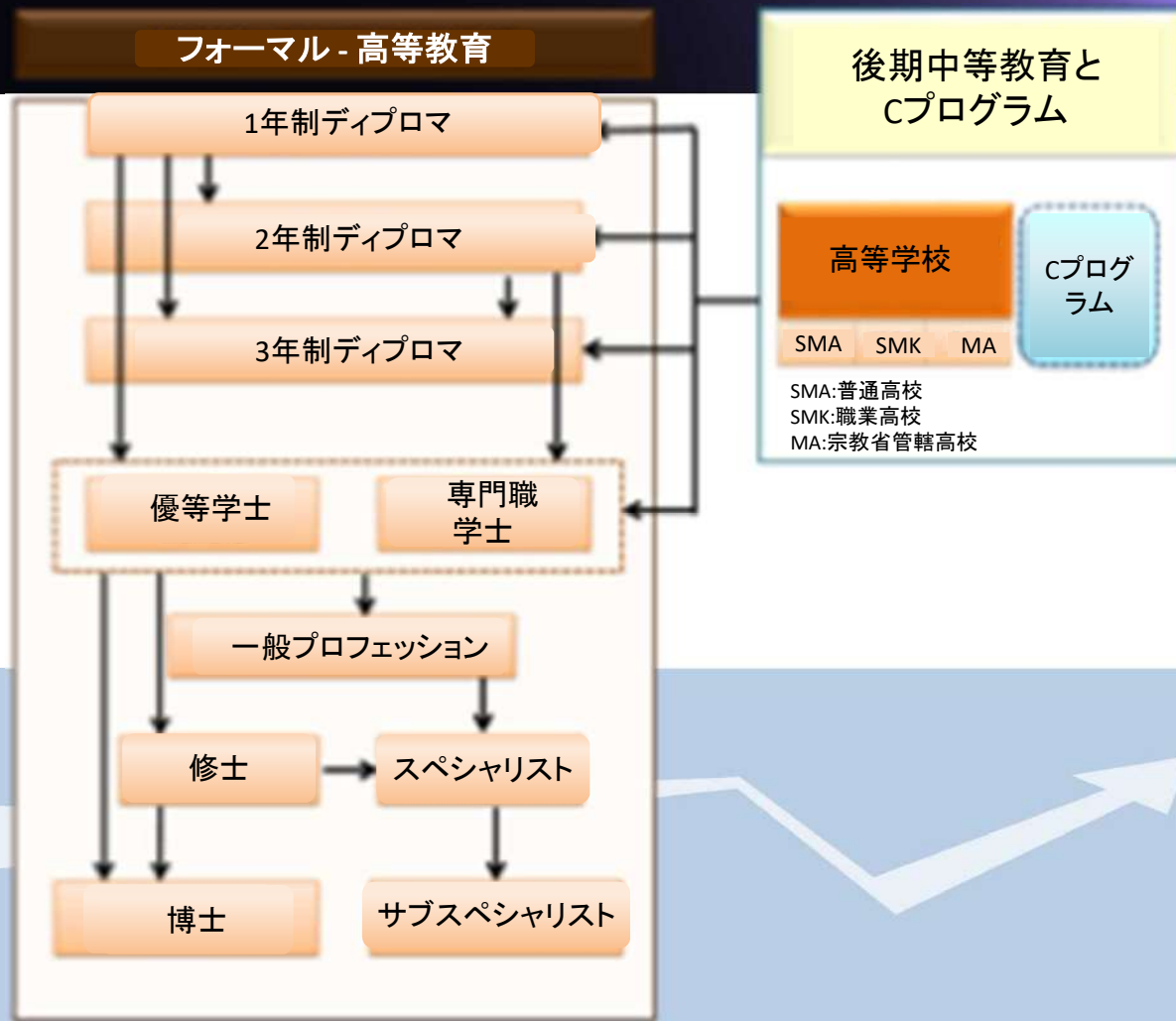
# 学部課程で予定される活動の種類と履修単位ごとの予定時間配分

...

学習プロセスの形態	セメスター履修単位ごとの予定時間配分 (各セメスターの週あたりの時間 単位：分)		
	対面	課題	自習
講義またはチュートリアル	50	60	60
セミナーまたはその他同様の形態	100	-	70
実習、スタジオ演習、ワークショップ、 実地訓練、研究、コミュニティサービス、 その他同様の形態	170		
ブロックシステムおよびモジュール	学習成果の達成のために必要な時間		

# 4. 高等教育への進学経路

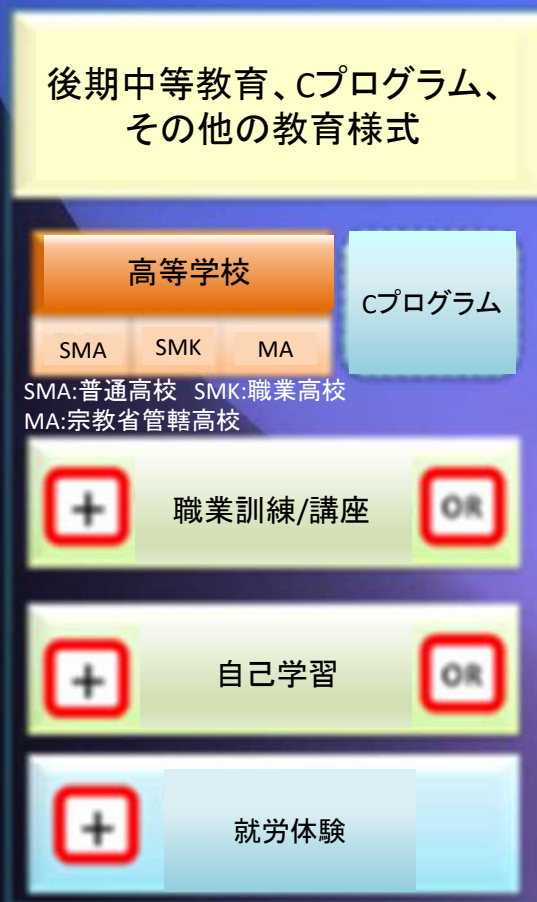
フォーマル教育では、Cプログラムまたは高等学校を経て高等教育機関に進学





# 4. 高等教育への進学経路

職業訓練・講座の参加者、ならびに自己学習の学習成果を有する者は、**従前の学習の承認 (RPL) メカニズム**を通じて高等教育への進学が可能



※RPL (Recognition Prior Learning) : 従前の学習の承認

# 政府の役割

フォーマルな高等教育において学習者が期待される能力を習得することの保証。これは主に国立高等教育アクリディテーション機構 (National Accreditation Agency for Higher Education/ Badan Akreditasi Nasional Perguruan Tinggi: NAA-HE/BAN-PT) および独立アクリディテーション機関 (Lembaga Akreditasi Mandiri) のアクリディテーション・プロセスを通じて行われる

政府、産業界および科学発展に伴うニーズに基づいた学際的な特徴を持つ教育課程の開発。質の点でより大きな説明責任を伴う認可プロセスを経て作り上げられる

それぞれの教育課程は、その名称に関連する多くの専門知識を提供し、学習成果をもたらすものでなければならない。現在提供されている37,556の教育課程はその名称を体系化して区分されており、一連の教育文化・研究・技術省令および総局長令により管理

# 各省が所管する 高等教育機関

教育文化・研究・技術省以外でも、  
中等教育および高等教育を所管

●  
宗教省

●  
内務省

●  
運輸省

●  
法務人權省

●  
工業省

●  
保健省

ありがとうございました

...

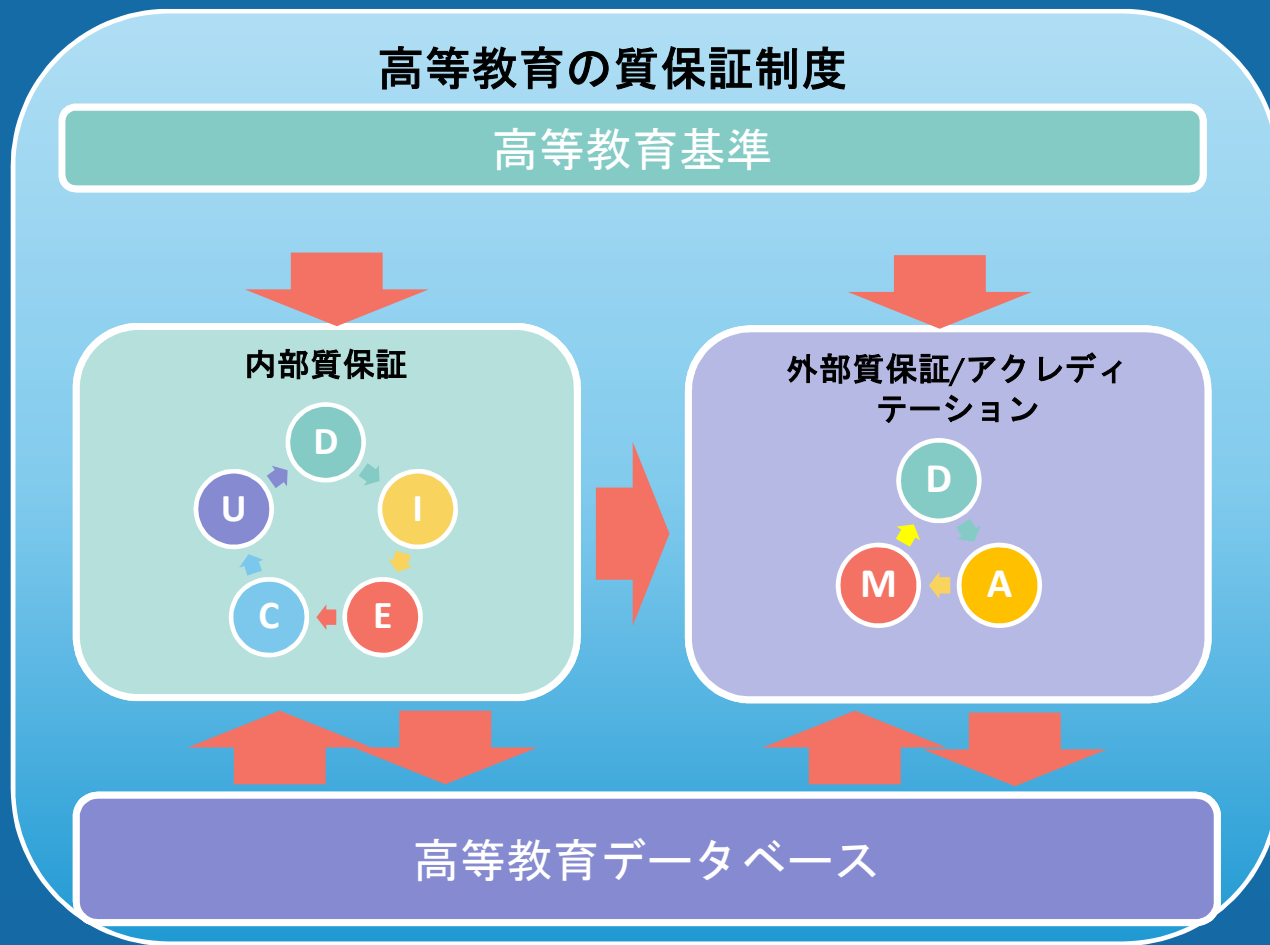


# 国内政策

## 高等教育の質保証制度と 内部質保証

高等教育に関する2012年法律第12号  
および研究・技術・高等教育大臣規則に基づく

教育文化・研究技術省  
高等教育・研究技術総局  
学生・学習部門  
2021年



## 質保証制度 高等教育

高等教育基準に基づく**質文化**

- 考え方
- 態度
- 行動

- D**etermination of Higher Education Standards (高等教育基準の決定)
- I**mplementation of Standards of Higher Education (高等教育基準の実施)
- E**valuation (implementation) of Higher Education Standard (高等教育基準の実施状況評価)
- C**ontrol of Duties Standard (業務基準の管理)
- U**pgrading of Higher Education Standard (高等教育基準の改定)

- D**ata Evaluation and Information (データ評価と情報)
- A**ccreditation Status and Accredited Rank (アクリディテーション状況とアクリディテーション結果)
- M**onitoring and Evaluation Status Accreditation and Accredited Rank (アクリディテーション状況とアクリディテーション結果のモニタリングおよび評価)



# 高等教育基準



**高等教育  
国家基準**  
2020年大臣令  
第3号

**高等教育  
基準**

**高等教育  
基準**  
各大学が  
策定

国家教育基準
卒業要件基準 (Graduate Competency Standards)
学習内容基準 (Learning Content Standards)
学習プロセス基準 (Learning Process Standards)
学習評価基準 (Learning Evaluation Standards)
講師・教員に関する基準 (Standards of Lecturers and Education Personnel)
学習施設・インフラ基準 (Standards of Learning Facilities and Infrastructure)
学習管理基準 (Learning Management Standards)
学習財務基準 (Learning Financing Standards)

国家研究基準
研究成果基準 (Research Results Standards)
研究内容基準 (Content Research Standards)
研究プロセス基準 (Research Process Standards)
研究評価基準 (Research Assessment Standards)
研究者に関する基準 (Researcher Standards)
研究施設・インフラ基準 (Facilities and Infrastructure Research Standards)
研究管理基準 (Research Management Standards)
研究資金調達・財務基準 (Funding and Financing Research Standards)

コミュニティサービスに関する国家基準
コミュニティサービス成果基準 (Results Standards of Community Service)
コミュニティサービス内容基準 (Content Standards of Community Service)
コミュニティサービス・プロセス基準 (Process Standards of Community Service)
コミュニティサービス評価基準 (Assessment Standards of Community Service)
コミュニティサービス実施基準 (Implementation Standards of Community Service)
コミュニティサービス施設・インフラ基準 (Facilities and Infrastructure Research Standards of Community Service)
コミュニティサービス管理基準 (Management Standards of Community Service)
コミュニティサービス資金調達・座有無基準 (Funding and Financing Research Standards of Community Service)

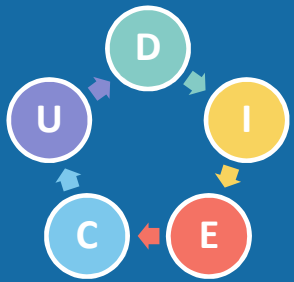
学術的基準
基準...
基準...
など

コミュニティサービス基準
基準...
基準...
など



各大学が策定  
2020年大臣令第3号





# D Determination of Higher Education Standards 高等教育基準の決定

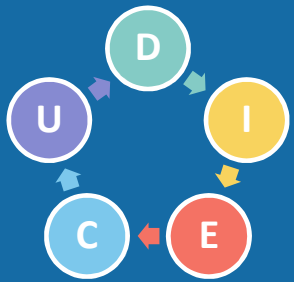
## 内部質保証システム (IQAS) の開発フェーズ

IQASの  
カイゼン  
(KAIZEN)



2016年第62号基準 (Permenristekdikti) 第8条第4(b)項

Designed © MA, 2018, Direktorat Penjaminan Mutu



Evaluation (implementation) of Higher Education Standard

## 高等教育基準の実施状況評価

### 評価 / 確認

2016年第62号基準 (Permenristekdikti)  
第5条第2項

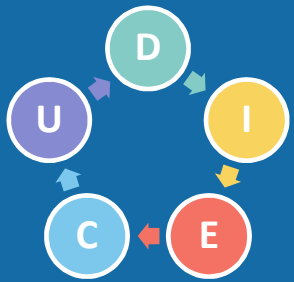
モニタリング

自己評価

アセスメント

内部質監査

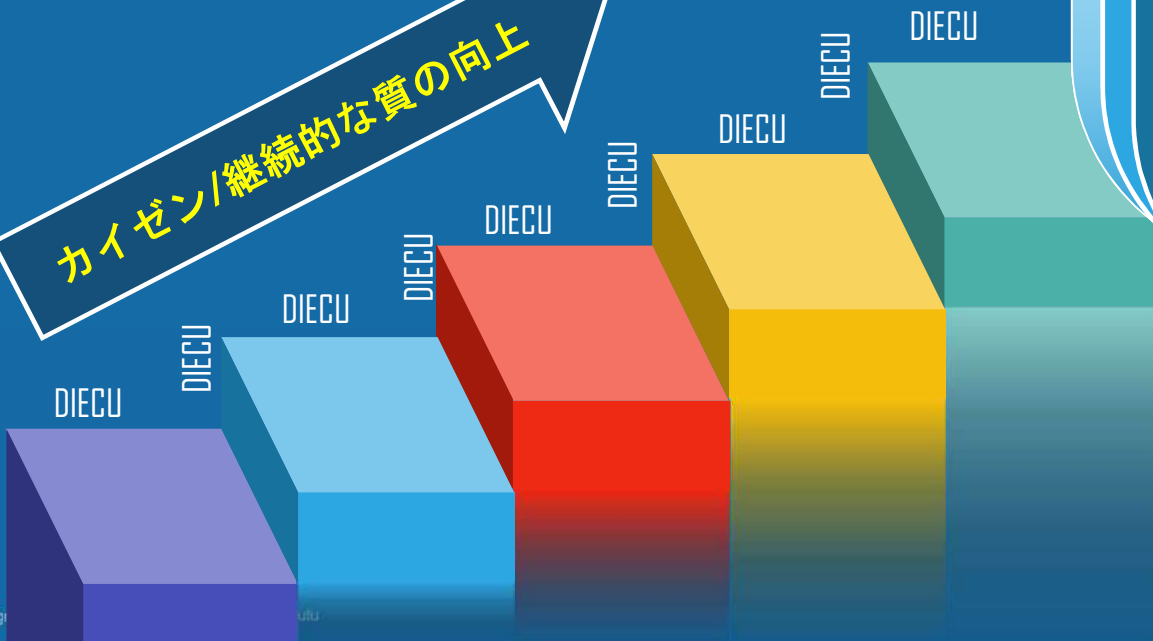
- ✓ 自己評価（自己評価報告書）→ 重要
- ✓ 内部質監査 → 内部チームによる
- ✓ 監査役による内部質監査 → 大学のトップが定めた要件に適合



Upgrading of Higher Education Standard

## 高等教育基準の改定

それぞれの高等教育基準のDIECUが、全ての高等教育基準のカイゼン、または継続的な質の向上（CQI）を実現する → 質文化



高等教育基準に基づく質文化

- 考え方
- 態度
- 行動

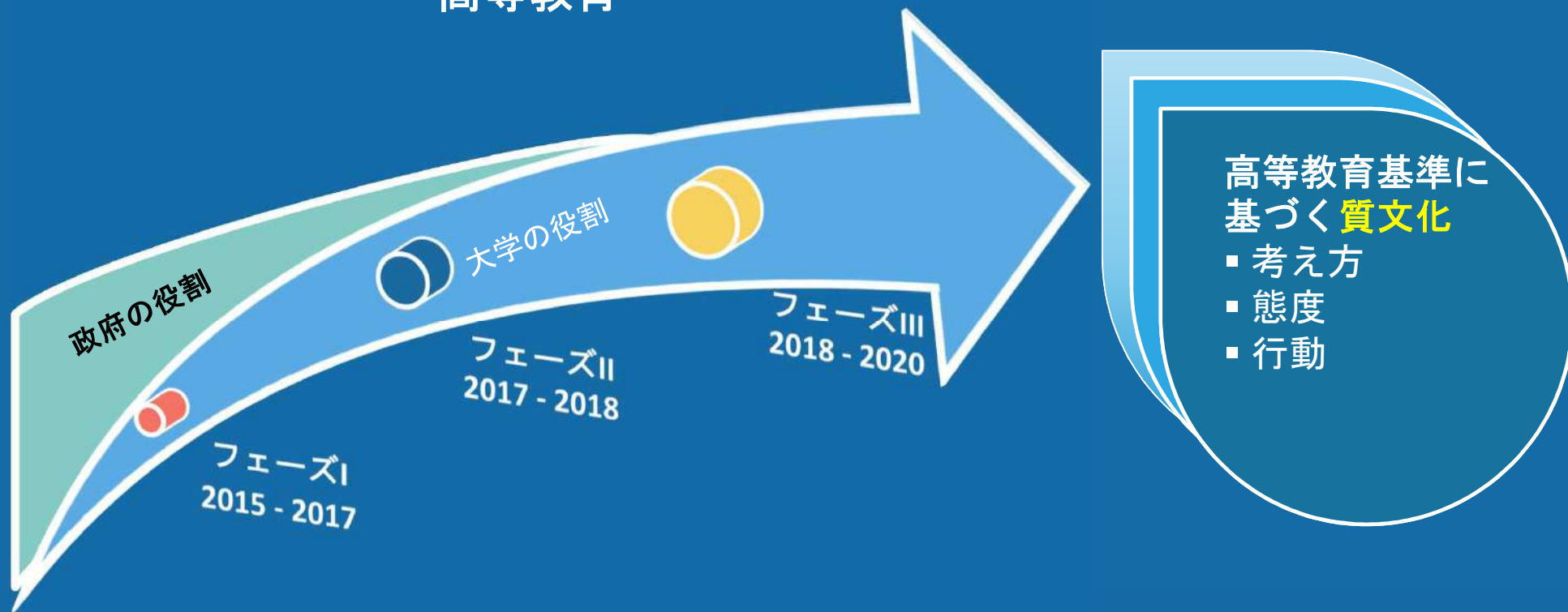
IQAS管理の心構え  
質を最優先

1. 次のプロセスのステークホルダーは我々のステークホルダーである
2. データをもとに話す
3. 源流管理

フェーズ

# 質文化の発展

高等教育



政府の役割: 外部主導  
大学の役割: 内部主導

- 高等教育基準に  
基づく質文化
- 考え方
  - 態度
  - 行動

# インドネシアのアクレディテーション



政府は高等教育国家基準（National Standard of Higher Education/ *Standar Nasional Pendidikan Tinggi: SNI DIKTI*）に基づき、フォーマルな高等教育において学習者が期待される能力を習得することを保証。これは主に国立高等教育アクレディテーション機構（*Badan Akreditasi Nasional Perguruan Tinggi: NAA-HE/BAN-PT*）および独立アクレディテーション機関（*Lembaga Akreditasi Mandiri: LAM*）によるアクレディテーション・プロセスを通じて行われる

## 機関別

NAA-HE / BAN-PTによるアクレディテーション・プロセス



LAMが設置されていない場合は、プログラムのアクレディテーションはBAN-PTが行う

## プログラム（教育課程）別

LAMIによるアクレディテーション・プロセス



## 3段階の判定



可 (Good)



良 (Very Good)



優 (Excellent)



# 認定期間の延長



プログラムと教育機関のいずれについても、認定の有効期間は  
**5年間**



認定期間の自動延長



認定期間の満了前に判定結果を  
BAN-PTが見直すことがある



教育機関からの認定期間の  
延長申請は不要



認定期間の延長は、教育文化・研究技術省および公開報告書から得たデータと情報を用いて、BAN-PTの評価の後、決定



高等教育の実施において  
質の低下が見られた場合



質の低下を測る指標の1つとして、PDDIKTIの高等教育データベースに基づき、5年連続で既存の教育課程の出願者数/在籍者数または卒業生数が減少

# 独立アクレディテーション機関 プログラム別アクレディテーション



Operasional

→ インドネシア保健高等教育アクレ  
ディテーション機構 (IAAHHE)



Diakui

→ 教育  
(LAM Kependidikan)



→ 科学および形式科学  
(LAMSAMA)



→ 経済学、経営学、ビジ  
ネス、会計学  
(LAMEMBA)



→ 工学  
(IABEEおよび  
LAM Teknik)



→ 情報科学およびコ  
ピューター  
(LAM INFOKOM)



# インドネシア高等教育機関の 国際的なアクリディテーション に関する政策

# 2020年教育文化大臣令第5号： 教育課程および高等教育機関のアクレディテーション

## 第6条: 認定期間- 延長方針



プログラムと教育機関のいずれについても、BAN-PTによるアクレディテーションの有効期間は5年間



認定期間の自動延長



認定期間の満了前に認定判定結果をBAN-PTが見直すことがある



高等教育機関からの認定期間延長申請は不要



認定期間の延長は、教育文化・研究技術省および公開報告書から得たデータと情報を用いて、BAN-PTの評価の後、決定



高等教育の運営において質の低下が見られた場合



PDDIKTIの高等教育データベースに基づき、5年連続で既存の教育課程の出願者数/在籍者数または卒業生数が減少



# 2020年教育文化大臣令第83号：

## 教育文化・研究技術省が承認した国際的なアクリディテーション機関

### 国際承認

1. 欧州質保証機関登録簿 (European Quality Assurance Register for Higher Education : EQAR)
2. 高等教育アクリディテーション協議会 (Council for Higher Education Accreditation: CHEA)
3. 米国連邦教育省 (U.S. Department of Education: USDE)
4. ワシントン協定 (Washington Accord)
5. 世界医学教育連盟 (World Federation for Medical Education: WFME)
6. シドニー協定 (Sydney Accord)
7. ダブリン協定 (Dublin Accord)
8. ソウル協定 (Seoul Accord)
9. キャンベラ協定 (Canberra Accord)
10. アジア太平洋質保証機関登録簿制度 (Asia Pacific Quality Register: APQR)

### 国際合意

1. 香港学術及職業資歴評審局 (Hong Kong Council for Accreditation of Academic & Vocational Qualifications: HKCAAVQ)
2. 台湾高等教育評鑑中心基金会 (Higher Education Evaluation and Accreditation Council of Taiwan: HEEACT)
3. オーストラリア高等教育質・基準機構(Tertiary Education Quality and Standards Agency: TEQSA)
4. 大学ビジネス教育推進協会(The Association to Advance Collegiate Schools of Business: AACSB)
5. MBA協会 (The Association of MBAs: AMBA)
6. 欧州経営開発財団質改善システム(EFMD Quality Improvement System: EQUIS)
7. ビジネス教育国際アクリディテーション評議会 (International Accreditation Council for Business Education: IACBE)
8. アジア太平洋ビジネススクール協会 (Association of Asia-Pacific Business Schools: AAPBS)
9. ビジネススクール・プログラムアクリディテーション評議会 (Accreditation Council for Business Schools and Programs: ACBSP)
10. 王立化学会 (Royal Society of Chemistry: RSC)
11. インド・リハビリテーション評議会 (The Rehabilitation Council of India: RCI)
12. 教育者準備アクリディテーション評議会 (Council for the Accreditation of Educator Preparation: CAEP)

学生・学習部門 (Directorate of Learning and Student Affairs)

※機関名は仮訳

# 2020年教育文化大臣令第754号： 2020年の公立高等教育機関の主な実績評価指標

**特に職業・芸術文化系公立高等教育機関:** 国際的に認められた、信頼できる機関によるアクリディテーションまたは機関認証

## 他の国際的なアクリディテーション機関:

1. ブリティッシュ・アクリディテーション評議会 (British Accreditation Council: BAC)
2. 南部大学学校協会大学委員会 (The Southern Association of Colleges and Schools Commission on Colleges: SACSCOC)
3. 高等教育質保証機構 (The Quality Assurance Agency: QAA)
4. 大学ビジネス教育推進協会 (The Association to Advance Collegiate Schools of Business: AACSB International)
5. 工学技術教育アクリディテーション委員会 (Accreditation Board for Engineering and Technology: ABET)
6. 薬学教育アクリディテーション評議会 (Accreditation Council for Pharmacy Education: ACPE)





ありがとうございました



質を重視